

## 薪風呂

# 01

山崎 博さん  
(西伯郡伯耆町)



### 導入理由

当時の家庭建築では、薪風呂を設置するのが通常であったこともあり、導入理由として特別なものはない。



### 費用に関して

#### 【コスト】

不詳

### 詳細情報

【使用機種】メーカー：日本製	【灰の処理】自宅横の畑に撒く
【導入時期のライフステージ】 以前から薪風呂であった	【メンテナンス】自分で行なう
【利用歴】32年	【点火方法】木切れ、新聞紙、紙類の点火
【導入のタイミング】新築時に導入	【居住形態】一戸建て
【入手方法】自家で調達	【使用している薪の種類】 様々
【保管場所】焚口横の専用スペース	【使用期間】1年中

#### ～ガスと併用～

主に冬の寒い時期温まりたいと感じたとき薪風呂に入ります。ガスで沸かしたお湯の追い焚きをする時に、薪を焚きます。薪で沸かしたお湯は体がいつまでもぽかぽかする感じがして、真冬にはとても重宝します。厳しい鳥取の冬には、なくてはならないものだと思います。

#### ～薪調達～

まず、薪の調達に関してですが、間伐材をもらったり、近隣の山に行ったり、裏山で調達したりしています。裏山で腐葉土などを調達する際に落ち葉や小枝などを集め、着火材として使用しています。

#### ～灰も利用できる～

次に灰の処理ですが、灰は石灰のように活用できるので春の山菜の灰汁だしに使います。特にワラビの灰汁だしに使うと素材本来の味がしてとてもおいしいと思います。

#### ～ノスタルジー～

五右衛門風呂で育ったこと、ダルマストーブや竹筒で火を焚いたことなど、薪風呂に入る度に、懐かしく思い出します。

#### ～子どもと火のある暮らし～

すでに独立している子どもたちは、薪風呂のおかげで火を焚くことのコツを学びました。マッチで、火を起こし、小さな木切れに火を移し、大きな薪を炭にし置き火を作る過程、火との付き合い方を、お父さんたちから教わって身に付けました。手間が掛かりコツの必要な作業を難なくこなすお父さんたちを見て尊敬の念を持って育ちました。



# 薪風呂 02

米井さん  
(智頭町)



## 導入理由

2014年8月に転勤で、囲炉裏と五右衛門風呂のある家に住み始めた。

事前に智頭の「囲炉裏のある家」に宿泊し、囲炉裏の魅力に取りつかれた。



## 費用に関して

### 【ランニングコスト】

燃料代（薪）：会社や裏山から調達

## 詳細情報

【利用層】4ヶ月

【保管場所】屋根付き裏

【導入のタイミング】購入前から

【点火方法】新聞紙、ダンボールを着火材  
古紙など其他燃えるごみ

【入手方法】自社、裏山

【居住形態】一戸建て

### ～ごみが燃料に～

薪風呂を炊く際には、古紙や燃えるごみを利用して火を焚いています。最初は、着火剤を火につけて古紙、乾いた木材などを投入して徐々に火を大きくしていきます。その火の焚きつけの際多くの古紙を使用します。普段の生活の中で、燃やせるものを探し、薪風呂のためにおくようになりました。すると、だんだんだのごみが燃料に見えるようになりました。燃やせるものと燃やせないものも分別も理解することができました。おかげで燃えるごみを出す量が減りました。近辺の燃えるごみは明らかに少なく、周りの家々でも燃えるごみを燃料として利用しているようです。

### ～温泉につかったような暖かみ～

薪風呂は、ガスで炊いた風呂と明らかに違います。まるで、温泉につかっているかのようなそんな気分になります。風呂釜は五右衛門風呂で、夜にお湯を沸かすと、気温が高いときには次の日の昼まで、十分な温度を保つことができます。実際、薪風呂を沸かすことは面倒だと思ふときがあります。しかし、薪風呂に入るために火をくべて時間をかけることは、十分にその労働対価に値する気持ちよさをあたえてくれます。

### その他のトピック

- ◆一度沸かすとなかなか冷めずに、次の日の昼まで暖かい。
- ◆温泉のような暖かみがある。
- ◆少し狭く窮屈さを感じるがその空間がよい。
- ◆水道水は山の水が引かれている。
- ◆鉄ガマから鉄イオンが溶けだしている。肌がすべすべになる気がする。
- ◆めんどりでも、入りたい、暖まりたいという気持ちにさせてくれ、その労働対価に似合っている心地よさがある。
- ◆火をつけるまでに手間がかかり、めんどりと感じるときがある。

